

令和6年度事業報告書

I 総括的概要

総括的概要

当地域における令和6年度の経済状況は、村上市景況調査の全業種での業況判断DⅠからみると、前々年度は最低△28.0、前年度は最低△23.9で推移していたものが、6年度は年度当初4-6月で△22.1とようやく上昇の兆しが見えてきましたが、トランプ政権による関税政策が国内景気への影響も大きく第4四半期1-3月では△30.5と低下しました。

長年、要望活動が続けている日本海東北自動車道建設促進については、令和6年度末で新潟県区間が全16本あるトンネルのうち、4本のトンネル工事が進み3本目が貫通し、トンネル区間全長約14kmのうち、約5kmまで採掘が進みました。全線開通に向けて着実に前進しています。

また、村上市・胎内市沖洋上風力発電事業は、令和7年4月に陸上工事着工予定が10月に延期となりましたが令和11年6月の運転開始を目指して、事業予定しています。岩船港が、洋上風力発電の建設補助港として活用できるよう、港湾機能の整備や強化に向けて関係機関に働きかけ、「村上市・胎内市沖洋上風力発電事業村上市事業者連携連絡会」を中心にサプライチェーンの構築に向けて行動してまいります。

雇用情勢については、村上公共職業安定所管内はもとより全国的にも多くの職種で人手不足が生じており深刻さを増しています。原材料やエネルギー価格の高騰と併せ景気回復への影響が出ています。

村上商工会議所・中小企業相談所の事業について

村上商工会議所の会員数は、廃業や事業縮小、諸事情による退会が34事業所ありましたが、各種支援金や助成金・補助金申請の支援や会員拡大に努め31事業所に入会いただき、年度末で899会員となりました。

要望活動としては、村上市長はじめ関係先に①人口減少、空き店舗対策、移住促進について、労働力確保のための支援制度の拡充について、創業支援の拡充について、地域インフラの一層の整備について、災害復旧、除雪対策への協力事業所入札時におけるインセンティブの反映について、エネルギー価格・原材料の高騰などによる支援について、再生可能エネルギーへの積極的取り組みについて、村上駅周辺のまちづくり事業について、町歩き観光客向けの公共トイレの整備について、②新潟県商工会議所連合会を通じて新潟県知事に令和7年度新潟県の産業振興施策について、③同連合会と新潟県ともに自由民主党、財務省・国土交通省へ道路整備関係予算確保と整備促進、④地元衆議院議員に令和7年度税制改正に関し中小企業対策予算の確保、中小企業の設備投資に対する税制について、中小法人の軽減税率の延長・恒久化、事業承継税制について、民間投資拡大に資する税制についてなど中小企業・小規模事業対策関連予算の確保、事業継続・雇用維持への強力な税制支援や多くの事項を衆議院議員や政府、関係省庁に対して要望しました。

また、国、県、市から持続化補助金を始めとする各種支援制度について、事業者が申請する際の相談や申請支援を32件、専門家による個別相談支援や創業塾などの認定特定創業支援事業は36件対応しました。

経済対策としては飲食店の消費喚起事業として「越後むらかみバル街」を実施、商品券が当たるスタンプラリーも行い多くの方が飲食店巡りをしました。

新年会員の集いは昨年を大きく上回る１７６名の参加があり盛況に開催されました。観光地クリーンアップ作戦、地域経済活性化懇談会を開催しました。

セミナーでは、「創業塾(第１２期・全６回)」、「定額減税ポイントセミナー」、「ＳＮＳ活用セミナー」、「新入社員セミナー」などを実施、個別相談会として、税理士や経営指導員などによる税務確定申告相談を実施、１８回のセミナー、１７９人の受講者、１６回の個別相談会、１２人の相談者を迎えました。

そのほか、「むらかみ『食のみらい』創造協議会」、「村上市観光協会ホームページ編集」などを共同で行いました。

調査広報活動として、村上市景況調査を四半期ごとに実施し、会員情報として会員の皆様に報告しています。また、ホームページによる情報提供、むらかみ商工会議所ニュースの村上地区新聞折込は定着し好評をいただいています。

また、２０２４年に発生した能登半島地震には、日本商工会議所が全国の商工会議所に義援金を募り被災した商工会議所と石川県、富山県、新潟県の各県連組織へ義援金の配分が行われました。新潟県連を通じ当商工会議所へも義援金をいただき、地震によるキャンセルと風評被害の影響が大きかった瀬波温泉旅館組合と村上市観光協会へそれぞれ義援金を贈呈しました。

村上市観光協会、岩船郡村上市雇用対策協議会、税務団体等の事業に参画、役職員が村上市はじめ各種団体の委員として参画しました。会員の福祉向上を図るため、提携している「にいがた県共済」「アクサ生命保険」の福利厚生商品の提供や、健康経営優良法人の認定に向けての支援、会員事業所の経営者と従業員のための健康診断を７回実施、３２３事業所１,０５８名が受診しました。

また、村上商工会議所自体も健康経営優良法人２０２５(中小規模法人部門)の認定を受けました。永年勤続従業員表彰では、村上木彫堆朱を記念品として３１事業所１００名に贈呈しました。

青年部は、年度末会員数６６名。「いいねっか村上２０２４」は、岩船港港灣緑地公園を会場に開催し多くの来場者を迎えました。また、第２１回となる「城下町しばた全国雑煮合戦」では３年連続の優勝、７度目となる征夷大將軍に輝きました。

中小企業相談所では、経営指導員や記帳専任職員などを配置するとともに、小規模企業振興委員を通じた会員企業の相談事業を実施、主な実績として経営指導員による巡回・窓口相談が１,７０８件、内小規模事業者の相談が１,４５５件。当商工会議所が推薦する無担保無保証人融資の小規模事業者経営改善貸付をはじめとする国、県、市の金融貸付制度では３１件、約１億２千９百万円の斡旋を行いました。また、個人の所得税申告と消費税申告は３１５件の決算代行を含め３７０件、労働保険は２９８件・１,２８４人の保険関係事務を受託し中小企業者の事務軽減に努めました。さらに、国認定の「経営発達支援計画推進事業」として、創業塾の開催、事業再構築補助金、新潟県消費喚起・需要拡大プロジェクト応援事業、村上市産業支援プログラムの申請支援、事業計画や経営改善計画等の策定支援などを実施しました。

令和６年度の収支決算について

令和６年度の収支決算については、一般会計５９百万円、中小企業相談所特別会計４７百万円、労働保険会計５９百万円、特定退職金共済事業特別会計７４百万円、４つの積立金会計残高が２７百万円として報告させていただきます。会員皆さま方のご理解とご支援に深く感謝を申し上げます。

令和７年６月

村 上 商 工 会 議 所
会 頭 川 崎 久